



WEEKLY REPORT

2015
↓
2016



No.902

H28 4/27 水

◎国際ロータリー第2530地区ガバナー／酒井善盛 ◎会長／小口憲太郎 ◎幹事／蔭山寿一

第40回例会

開会点鐘

ロータリー歌
「それぞこそロータリー」斉唱

四つのテスト唱和

ゲスト紹介

蔭山寿一幹事

吉田いくよ様
根本良一幹事(郡山安積RC)
高縁勝一さん(郡山安積RC)

会長挨拶

小口憲太郎会長



郡山の桜は散ってしまいました。裏磐梯は満開です。素晴らしい季節ですが、お客様は少なく福島県は震災前の50%です。安倍首相はインバウンド3倍計画を掲げていますが、福島県もきちんと予算を取っていただけるように頑張らなければならないと思います。

新入会員入会式



渡邊孝子さんのご挨拶

有限会社ナガミを平成2年に法人化

し、平成17年に介護事業に参入いたしました。共にやってきた主人を亡くしまして、小規模ですがデイサービス、居宅支援・訪問サービスを頑張っていこうと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

●根本良一 郡山安積RC幹事

郡山安積RC創立30周年記念式典のPRのためにお邪魔いたしました。6月18日(土)ビューホテルアネックスで開催させていただきます。たくさんの皆様にご参加いただくようよろしくお願いいたします。

●高縁勝一 郡山安積RCパスト会長

郡山安積RC創立30周年記念式典は二部構成で、式典の前に2時から福島県出身で首都大学東京大学院教授の星旦二氏の「ピンピンコロリの法則」という演題での講演会があります。ご登録いただいた方にはこのタイトルの著書を差し上げます。お待ちしておりますので参加よろしくお願いします。



●大山三起雄 環境保全委員長

5月18日(水)の例会前に地下駐車場のエレベーター前でエコキャップ回収を行います。

出席報告

渡部宏夫委員長

総員	37名
出席	25名
欠席	12名
出席率	67.57%
前回修正率	55.56%

<メイクアップ>藤田弘美さん

スマイルBOX報告

津野順子委員長

小口憲太郎 吉田いくよさんのお話楽しみにしております。

滝田幸子 吉田いくよさんゲスト卓話ありがとうございます。よろしくお願いします。

増子ふみえ 吉田様の卓話楽しみにしてます。

渡部宏夫 誕生日の「お花」ありがとうございました。

橋本弘幸／高橋功／宮崎登志行
采女真弓／佐藤功一／大山三起雄
蔭山寿一／津野順子



幹事報告

蔭山寿一幹事

県立聾学校から後援会総会のご案内、ガバナー事務所から熊本地震義援金協力に関する連絡が来ています。

プログラム／ゲスト卓話

ゲスト紹介

宮澤キヨ子 クラブ会報委員長

本日は吉田いくよ様から「パフォーマンクス学」についてのゲスト卓話をいただ

きます。吉田様はたくさんの経歴をお持ちです。主な経歴は、元福島中央テレビアナウンサーで、番組にレギュラー出演され、ディレクターも経験されました。現在は有限会社ヴォイス・プロ代表取締役です。郡山商工会議所女性会会長、奥羽大学歯学部非常勤講師、郡山女子短期大学部非常勤講師、NHKセンター講座郡山教室話し方トレーニング・朗読講座を担当されるなど、ご多忙な毎日を過ごされています。今日はよろしくお願いたします。

■ ゲスト卓話

「パフォーマンス学～人間関係をよくするコミュニケーション～」

(有)ヴォイス・プロ 代表取締役
吉田いくよ 様



私は福島中央テレビのアナウンサーとして郡山に来て40年ほどになります。長尾さんは元上司です。話すことをずっと仕事にしたいと思ひまして(有)ヴォイス・プロを起業しました。仕事をする中で学んだことや、コミュニケーションの大切さについてお話しさせていただきます。と思っています。

皆さんは人はみな同じだと考えているでしょうか。それとも皆違うと考えているでしょうか。正しい答えはないと思いますが、人は皆違うと答えられた方が多いのは、皆さんが価値観の違いを意識しておられるからだと思ひます。コミュニケーションを取るためには、価値観の違いを調整するための話し合いが必要となるわけですが、話の仕方がとても重要になります。そもそも生きていくことの目的は、人間関係を作ることではないかと思ひます。人間関係をより良くするためのツールがコミュニケーションの取り方ではないかと思ひます。そう考えるとコミュニケーションのあり方が

大変重要で、自分が意図することが相手にどう伝わるか、相手にどんなふうを受け止められるか、ひと言ひと言が相互の関係において大変重要になってきます。

パフォーマンス学はさまざまな表現のあり方を研究する学問で、日本の第一人者と言われる方が佐藤綾子先生です。ニューヨーク大学で40年ほど前に学ばれ、最初に書いた本が当時の中曽根首相の目に留まったことから、先生の名が知られるようになりました。私は20年ほど前にインストラクターの資格を取るために、2年間頑張って東京に通いました。全国から200人が集まりましたが、資格を取ったのは30数人でした。パフォーマンス学とは、表現のあり方を研究する学問で「日常生活における個の善性表現」と定義され、日常的・实际的に役立つ学問です。自分自身の表現であり、目的を意識した「生き方の表現」の具体論と言えます。自分自身の個を生かして潜在能力を引き出し、トレーニングを積みながら目指すところに向かい、目指すものの獲得をはかります。伝えたい自分を的確に表現し、相手の心もしっかり読み取り、良い人間関係を築くという目的を持っています。言葉の使い方、語彙の数、言葉の組み立て方などの言語表現と、言葉以外の非言語表現とに分けられ、声の大きさ、スピード、高低、表情、身体表現などの周辺言語と言語表現は同時進行します。それらのひとつひとつを紐解いて身に付けていくことがパフォーマンス学です。

コミュニケーションのために大切なことは、感情移入をして聞くこと、感情をコントロールすること、聞く力を持つことなどです。そして重要なことがアサーションです。より良い人間関係を構築するためのコミュニケーションツールのひとつで、互いを尊重し合いながら、適切に自己主張することです。具体的には心の中で“I am OK, You are OK”と言うことです。自分にとっても相手にとってもフラットな関係で、どちらもOKという会話に進めていかなければいけません。自己主張を押し付けるアグレッシブな攻撃的タイプは、相手より自分が優

位に立とうという気持ちが働いていません。ノンアサーティブな非主張的タイプは、気持ちや意見を表現しなかったり、しそこなったりしてしまいます。アサーティブなタイプは、自分も相手も大切にして、率直にその場にふさわしい表現ができ、意見がぶつかる時には意見を出し合い、双方に取って納得のいく結論を導き出そうとします。怒りなどの激しい感情をコントロールするためにはアンガーコントロールが必要です。エンカウンターは、相手の中に入り込んでうまく調整していくという方法で、言い方を変えて意見を切り替えていきます。

パフォーマンス学は非常に幅広い学問です。善性を表現していくことで、より良い人間関係を築き上げていくことができるわけですが、自分の行動を客観的に見てみると、それほど厳しい口調でなくても、威圧的な表現をしてしまったり、あるいは逆に迎合してしまったりすることもあるものです。自分が納得できるように、みんなで話し合いをするために、話し合いの仕方ということに目を向けていかなければなりません。これは簡単には身に付けることができませんから、トレーニングをしなければなりません。私はNHKや大学などでもいろいろな講座を受け持っておりますが「話し方教室」ではなく「話し方トレーニング」としています。“No training no win(future)”として、みんなで一緒にトレーニングをして、身に付けていきましょうというスタンスで臨んでいます。

◎ロータリー財団寄付者

小口憲太郎 / 高橋功 / 宮崎登志行
大山三起雄 / 橋本弘幸 / 滝田幸子
采女真弓

◎米山記念奨学会寄付者

小口憲太郎 / 白岩邦俊 / 津野順子
宮崎登志行 / 高橋功 / 滝田幸子
橋本弘幸 / 采女真弓 / 蔭山寿一

◎ポリオ寄付者

小口憲太郎 / 蔭山寿一 / 橋本弘幸
宮崎登志行 / 采女真弓

Rotary 

閉会点鐘